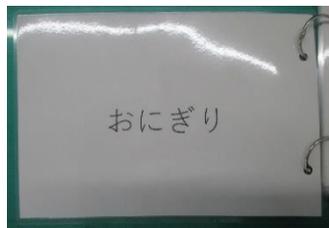


主に関係する 領域・教科	自立活動	氏名：徳舛 由紀子
教材・教具名	ぼくの言葉カード	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を表出やコミュニケーションの機会を増やす (・使える言葉をいろいろな人に知ってもらう) 	

教材教具の説明

- ・日常生活で使っている言葉をチェックし、一覧表を作成する。
- ・パワーポイントでカードの表（写真）と裏（言葉）を作成する。
- ・裏面の言葉は本人が実際に言っている言葉も載せる。
- ・印刷した物を半分に折り、ラミネートする。
- ・二つ穴を開け丸リングで止める。

<裏>



<表>



制作のポイント	使用材料・部品
<ul style="list-style-type: none"> ・カードをパワーポイントで作成することで、保存、追加、訂正しやすいようにした。 ・A4 サイズを半分に折ると表が絵や写真、裏が文字になるように、文字は逆さまにした。 ・めくりやすさ、固定のしやすさ、入れ替えやすさを考え、二つ穴の丸リング止めにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードの元版 ・ラミネート ・丸リング

実践	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の時間だけでなく、朝などのちょっとした待ち時間や休み時間にも、選択肢として提示すると、選んで使用することが多かった。 ・こちらが提示して本人が言葉を言うだけでなく、自分でめくって楽しみ、また、「これは？」と質問をしてきて、こちらが答えたりして活用している。
効果・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている、言える言葉ばかりを集めたことで、言葉カードを見ると笑顔を見せ、「やる。」と言って一日1回以上は使用している。 ・言葉カードを使っている様子を他の生徒が見て、一緒に取り組む場面も見られ、コミュニケーションの機会にもなっている。 ・関わる人が言葉カードを見て、「こんな言葉も言えるんだ。」「こういう意味で言ってたんだ。」と、本人の理解にも活用できることがわかった。 ・データやカードを他のことでも利用し、活用の幅を広げていきたいと考えている。